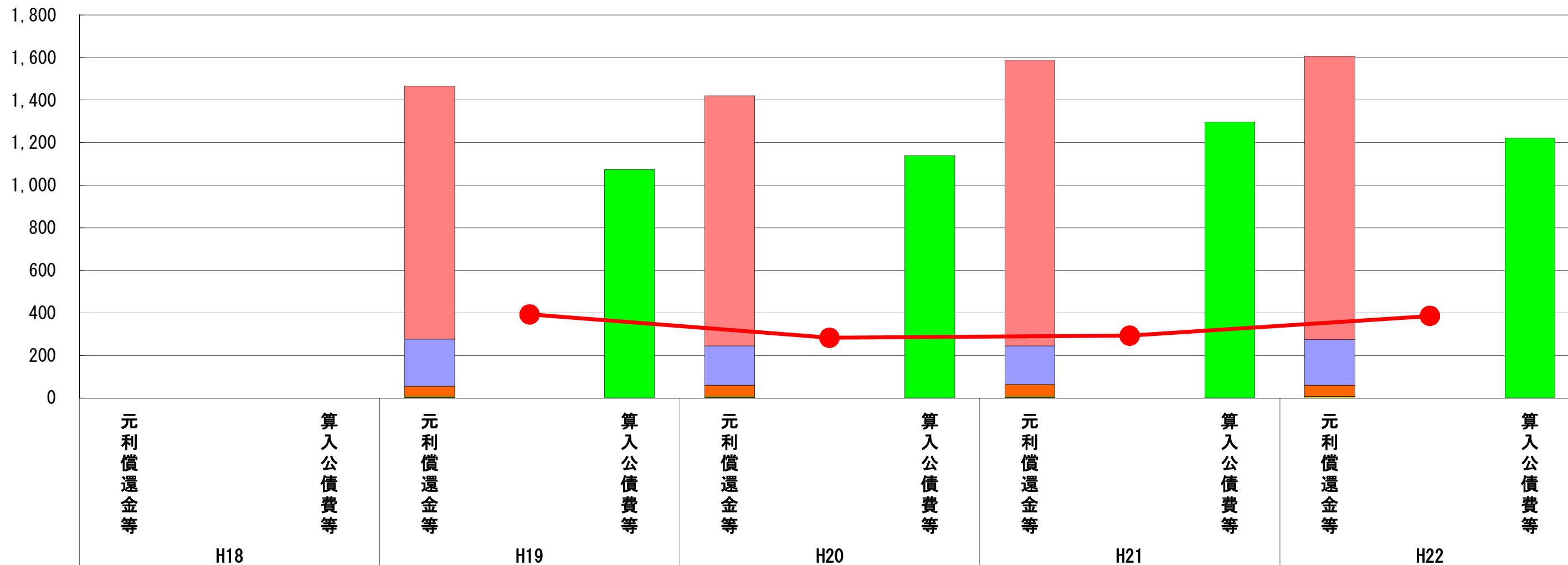


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

北海道岩内町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等 (A)	元利償還金	-	1,189	1,177	1,344	1,332	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	222	184	183	215	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	47	53	55	54	
	債務負担行為に基づく支出額	-	6	6	6	6	
	一時借入金利息	-	1	1	1	0	
算入公債費等 (B)	算入公債費等	-	1,073	1,139	1,297	1,222	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	392	282	292	385	

分析欄

平成18年度に地方債の借換えを実施したことに伴い、元利償還金について、当分の間、ほぼ同水準で推移する見込みにあるが、岩内地方衛生組合が実施する老朽施設の建替事業も控えており、今後の新規の地方債の発行を計画的に行うことで、更なる安定化を図るものである。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

※平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。